

水道事業を考えよう

未来へ引き継ぐ 安全で頼れる水道をめざして



問合せ 役場水道課業務係 ☎295-2112 ①161

令和2年度水道事業予算の概要をお知らせします

■水道事業は収益的収支と資本的収支の2本立ての会計になっています。

収益的収支

水道料金等の収入と水道水をつくり、送り届けるための費用などです。

収入は、前年度から1,712万5千円減の7億8,043万9千円となりました。減少の主な理由は、水道料金収入の減少です。
支出は前年度から1,950万3千円減の7億5,547万7千円となりました。減少の主な理由は県水受水費の減少です。

資本的収支

建設改良のために調達した資金と建設改良・更新のための費用などです。

収入は、前年度から121万5千円減の1億6,634万9千円となりました。減額の主な理由は県補助金の減少です。
支出は、前年度から75万5千円減の4億4,519万4千円となりました。

収入

7億8,043万9千円
(消費税込み)

支出

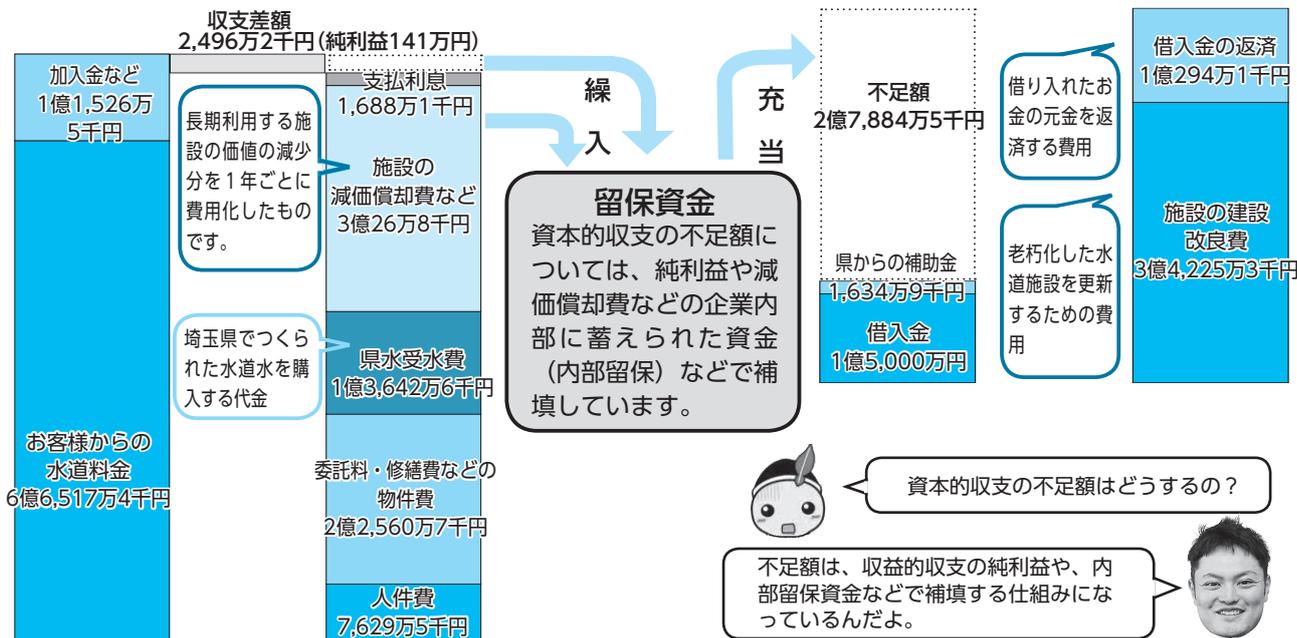
7億5,547万7千円
(消費税込み)

収入

1億6,634万9千円
(消費税込み)

支出

4億4,519万4千円
(消費税込み)



昨年の台風19号の苦林浄水場浸水被害を教訓にした浸水防止対策事業や水道管延長201キロメートルのうち24キロメートル残存する石綿セメント管を耐震管へ更新する事業などを積極的に行う予算となっています。収入が減少し厳しい経営状況ですが、皆さんに安心して供給できる水道を維持していきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

第62回「水道週間」

6月1日～7日

「飲み水を 未来につなごう

ぼくたちで」を

スローガンに全国的に実施されます。